



大日化成資料がスマホ対応で手軽にダウンロード出来るサイトを公開!

かねてお問い合わせの多かった、ビッグサン標準施工要領書でございませうが、この度技術資料をはじめとする、データダウンロードサイトを

【大日化成、営業ツールダウンロード】サイトを立ち上げたしました。

とくに、iPhoneをはじめとしますスマートフォンでも容易に閲覧して頂けるように、表示を最適化しております。

もちろんパソコンやタブレット端末でもそれぞれ最適化された画面にてご利用頂けます。

ぜひとも緑化のご提案にお役立て下さいませ。

データはPDF形式です。そのまま印刷して頂き、社名、欄に御社のお名前などを追加で印刷して頂き、「御社のご提案書」がご用意出来ます。

これから現場で施工したいのだが、標準施工仕様が不明で、という施工業者様からのお問い合わせも多く頂いており、現場で簡単にスマホでの閲覧が可能となりました。

また、営業ツールとして、緑化資料をご提案頂く際に、御社のクライアント様にお出しする「ご提案資料」

- ・屋上緑化（陸屋根用・折板屋根用）
- ・壁面緑化（ワイヤーメッシュ式・ネット式）

の4項目をご用意いたしました。

WEBサイトよりダウンロードしてご利用頂けます。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

関連して、趣味で学生時代より興味を持って研究している「化学突然変異による新品種作り」を20年を取り組んでいます。この処理法は話題となったSTA

緑化の仕事は、大学の専攻が農学部で有った事、親から受け継いだブドウ園の経営などから親しみが有り、やりがいのある仕事を頂いたと感謝しています。

東京支店で緑化部門を担当しています。山下律正です。

技術部在籍23年を経て、現在東京支店で緑化部門を担当しています。

東京支店に来て6年目を向かえ、緑化一つとっても日々変化する関東圏の動きに驚いています。緑化の仕事には、1999年に始まったセダム緑化研究から携わり、東京支店に移ってからは、市場の変化を先取りした壁面緑化を中心に、新分野の品揃えを開発してきました。この間に商品も増え、個人邸から屋上・壁面をカバーする緑化サイト「緑化スタイル」を提供できる建築緑化サイトを立ち上げる事が出来た事をうれしく思います。



P細胞の作り方に良く似た処理法を使い、諸条件を入れ換えると、興味を引く新植物ができます。趣味での研究を、桐蔭横浜大学 飯島健太郎准教授の指導の下に学会論文に仕上げ、2010年の学会発表を行い、研究実績を残すことが出来て嬉しく思っております。

また多くの方々に研究への関心と、成果を認めていただき感謝をしています。

防水メーカーが主体の緑化業界は、とすればハードを中心に開発が進み、遺伝子ソフトに光が進み、なかったのですが、「常緑グリーンソフト」の出現以降、遺伝子ソフトの重要性が認識された事に、研究者として喜びを感じています。変異技術の趣味が講じて、私のアパートは温室さながら植物に囲まれ、帰宅すると室内農園での暮らしをしています。

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

- 本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
- 東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

次号も お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

映画で学ぶ 環境問題



ノア 約束の舟 (Noah)

監督：ダーレン・アロノフスキー
脚本：ダーレン・アロノフスキー
製作：ダーレン・アロノフスキー
出演：ラッセル・クロウ
ジェニファー・コネリー

配給：パラマウント映画
上映時間：138分
公開：2014年 [米国]

今回取り上げるのは、ご存じ、旧約聖書の創世記に記された「ノアの箱舟」の物語を実写化した映画です。創造主である神が、墮落した人間をほろぼすために大洪水を引き起こすことをアダムとイブの子孫であるノアに知らせ、彼とその家族だけに、動植物を1つがいただけ救う使命を与え、巨大な箱舟の建造に乗り出して行く姿を描いています。

それは紛れもなく、日本においてもまた世界的にも「水害」が頻発しているからです。その要因は、「二酸化炭素の排出」により地球が温暖化されているからだと言われ

ではなぜ、本コラムでこの映画を取り上げるのか？

それは紛れもなく、日本においてもまた世界的にも「水害」が頻発しているからです。その要因は、「二酸化炭素の排出」により地球が温暖化されているからだと言われ

そして近代まではバランスよく出ている水蒸気が、気温とのバランスが崩れることによって水害が増えたとされる学説が今のところ有力なわけですね。

もちろん以前にもご紹介した中部大学の武田邦彦氏のように、まったく反対の意見を唱えている学者もいますから、必ずしも「これが絶対に正解」とはいえない状態です。

実はその仕組みについては、まだまだ諸説があり、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)も、ようやくその理論を明確化しはじめた程度です。詳しい解説をしますと本欄のスペースでは足りないため要約になりますが、私たちの日常生活で、石油など化石燃料や電気などを使うことで二酸化炭素が排出されます。特に核家族化・文明化・コンクリート化が進んだ現在、この二酸化炭素の排出量が莫大で、自然のサイクルでは緩和できず「温室効果」のように地球を温めてしまつたのです。

まあ宗教の世界では良くも悪くもこういつた預言がなされていくため、日々心して生活をしなさいというごとくでしょうが、少なくとも私たちが一人一人が二酸化炭素の排出を減らす行動をとっておけば、人類が減るような洪水はやってこない・・・そう信じたくなる映画でした。

ただ現実問題として、世界各国で洪水や豪雨による水害は明らかに増えているため、ノアの箱舟の話は垣間見ることは、大切ではないかと本欄で取り上げた次第です。

では、ノアの箱舟は本当にあった話なのでしょうか？ これももちろん未だに解明されていない謎ですが、浦島太郎伝説同様、世界各地にノアの箱舟伝説に由来する土地や遺跡が残っているの、実在したのかもしれません。

そして未来においても、ノアの箱舟が必要とされる時が来るかもしれません。